

## 令和2年度第1回ギャンブル等依存症対策研究会 議事要旨

日時：令和3年3月2日（火）午前10時30分から11時30分

場所：オンライン形式で開催

出席委員：井上研究委員、木戸研究委員、西村研究委員、河本専門委員、寺田専門委員、三宅専門委員、村井専門委員

関係部局：IR推進局、大阪府こころの健康総合センター、大阪市こころの健康センター

### ■議事

1) 「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域整備 実施方針（案）」の修正および今後のIR事業全体のスケジュールについて

IR推進局より、事業者公募等の状況、国の基本方針等の状況、府市の実施方針（案）の主な修正点、今後のIR事業全体のスケジュール等について説明。

2) これまでいただいたご意見について

IR推進局より、本研究会のこれまでの開催実績といただいたご意見、実施方針への反映や府市の依存症対策の取組状況について説明。

3) 令和3年度の大阪府・市のギャンブル等依存症対策予算について

IR推進局より、大阪府・市それぞれのギャンブル等依存症対策事業の予算額と、その概要について説明。

4) 令和3年度ギャンブル等依存症対策研究会について

IR推進局より、令和3年度のギャンブル等依存症対策研究会の主な研究テーマと開催スケジュールの予定について説明。

### ■主な意見

- ・大阪府市の取り組みをきっちりと把握したいので、今後も可能な範囲で情報提供いただけるとありがたい。
- ・ギャンブルが地域に与える健康への影響にかかる対策について、海外では、問題のあるギャンブリング、ギャンブル障害に関連する対策全体を、行政と全ギャンブル事業者が連携しながら実施していくという形で整理されている。IR事業者に何を求めるかを検討することだけでは十分ではなく、こういった点も考えていく必要がある。
- ・お金を失うリスク、人間関係に関するリスクなどギャンブルをすることによるリスクについても、未成年や大学生向けの啓発資料に盛り込んでほしい。
- ・府市の啓発効果について、有病率は一つの指標になりえるが、短期間で大きな有病率の変化が表れるかという点と難しい。有病率以外の指標があるのかどうか、考えておく必要がある。